

AIタクシー 快適快走



健軍商店前で「ピアクレスAIタクシー」に乗車する女性＝熊本市

熊本市健軍の実証実験

熊本市東区の健軍地区で、人工知能(AI)を活用した相乗りタクシーの実証実験が始まって1カ月が過ぎた。AIが最適な配車と経路を判断するといわれ、実際はどんなものなのか。29日の実験終了まで残りわずか、駆け込みで「ピアクレスAIタクシー」に試乗した。

スマホで簡単予約
移動手段を「判断」

「デジタル弱者」対応が鍵

まずは、スマートフォンで専用アプリ「ピアクレスMas(マス)」をインストール。続いて熊本市交通政策課と連携し、IDとパスワードを入力する。これで準備完了。

11月中旬、東区の市動植物園で取付後、近くの庄公園駐車場に移動。スマホのアプリを起動させる。周辺の地図が表示された。画面をタッチして出発地と目的地(健軍)を入力し、目的地を選択、地図を拡大すれば、ピンポイントで場所を指定できる。続いて「経路検索」をタッチすると、「徒歩1:13分」「AIタクシー約30分(5分)」「市電・徒歩0:6分(70分)」と複数の経路が表示された。タクシー以外の情報も提示され、移動手段が最適なのか、移動手段が提示された。料金と料金を判断できる。

「AIタクシー」を通じて、人数と時間を入力すれば予約完了。この間、わずか1分足らずで乗外簡単予約して移動できる。熊本市では昨年10月、同じような仕組みの「おもちゃいタクシー」の運行が始まり、すでに健軍商店街のタクシー乗り場でも導入された。

「健軍市では2度の実証実験を経てスタートした。最初の1カ月の利用は470件だったが、1年後には600件の倍に増えた。相乗り率は当初の14%から30%になり、効率が一がった。地方都市で経験し、それを補完するモビリティとして、市民の利便性向上につながっている。今回の実験で健軍地区を選んだ理由としては、

「健軍市は電気の供給があるが、その先の公共交通は十分ではない。都市部外部の乗り換え地点に効率的に人を集める方法として、料金はやや高めに設定し、30分あり、実証実験というところもあり、料金は通常の半額以下だ。待つこと15分、タクシーは時間通りにやってきた。この間、スマホ画面でタクシーの位置をリアルタイムで確認できる。予約したタイミングや方向も含め、他が、スタッフに配車を頼む利用者と相乗りになるが、この日は複数の乗車で、相乗りにはならなかった。市によると、最近の1日の利用件数は20~30件、利用者やさらに増えれば相乗りの機会も増えるだろう。健軍商店街のタクシー乗り場でも導入された。

り場では2人の若年者がAIタクシーを待っていた。「最近、リピーターが増えてきた。料金が安いのと乗り場の女性スタッフ。この乗り場から乗車するのは70~80代が中心。本来はスマホ使ったタイミーが、スタッフに配車を頼むだけ、電話で予約しに行くケースが多い」とい。

相乗り前提で効率アップ

ピアクレスAIタクシーの実証実験は熊本学園大、熊本市、タクシー社の協力による。実行委員会を実施している。実行委員長は溝上章志・熊本学園大教授に担い、今後の見通しを聞いた。

熊本学園大・溝上教授に聞く



熊本学園大の溝上章志教授

「中間的なサービスが必要だ。要は、中間的なサービスとはどのようなサービスか。タクシーと違うのは相乗りによる効率アップだ。1年後には600件の倍に増えた。相乗り率は当初の14%から30%になり、効率が一がった。地方都市で経験し、それを補完するモビリティとして、市民の利便性向上につながっている。今回の実験で健軍地区を選んだ理由としては、

「健軍市は電気の供給があるが、その先の公共交通は十分ではない。都市部外部の乗り換え地点に効率的に人を集める方法として、料金はやや高めに設定し、30分あり、実証実験というところもあり、料金は通常の半額以下だ。待つこと15分、タクシーは時間通りにやってきた。この間、スマホ画面でタクシーの位置をリアルタイムで確認できる。予約したタイミングや方向も含め、他が、スタッフに配車を頼む利用者と相乗りになるが、この日は複数の乗車で、相乗りにはならなかった。市によると、最近の1日の利用件数は20~30件、利用者やさらに増えれば相乗りの機会も増えるだろう。健軍商店街のタクシー乗り場でも導入された。

「おそくまじしよし」熊本市出身。熊本大学大学院を経て現職。専門は都市・交通政策。66歳。